

# 東京大学医科学研究所 記者会見

1. 日 時：平成 23 年 3 月 31 日（木）14：00～15：00

2. 場 所：東京大学医科学研究所附属病院 病院棟 8 階 トミーホール

3. テーマ：**骨再生医療（歯槽骨）を対象とした日本初の「骨再生診療科」の開設**

4. 発表者：

東京大学医科学研究所附属病院 病院長	今井浩三 教授
東京大学医科学研究所附属病院 先端診療部	山下直秀 教授
東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 分子療法分野	東條有伸 教授
東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 分子療法分野	各務秀明 特任准教授
株式会社 T E S ホールディングス	林 明男 代表取締役

5. 発表概要：

東京大学医科学研究所では、これまで文部科学省「橋渡し研究支援推進拠点」として研究を進めて参りました橋渡し拠点シーズの一つである骨再生医療（歯槽骨）を対象とした「骨再生診療科」を附属病院に開設します。本診療科にて、厚生労働省により 3 月 15 日付で承認を受けた歯槽骨再生に関する臨床研究を厚生労働省等のサポートを受けて実施することとなりました。この臨床研究を通じて安全性・有効性・実用性を評価したうえで高度医療に繋げ、先端的な再生医療の実用化を目指します。

6. 発表内容：

再生医療とは、細胞や増殖因子などを用いて、失われた臓器や身体の組織を再生させる新しい医療です。特に、ご自身の細胞を用いて行う骨再生治療は、安全性が高く患者様の負担の少ない医療として期待されています。東京大学医科学研究所附属病院では、これまで産学連携プロジェクトとして、大学で開発された技術（シーズ）を実業化する、橋渡し研究の一環として骨再生医療研究を進めてまいりました。その成果として、歯槽骨の委縮した患者様を対象とした歯槽骨再生に関する臨床研究に対して厚生労働省の承認を受けましたので、近々開始する予定です。この臨床研究は 2006 年 9 月に施行された「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針」に従い実施されます。

これに伴い、医科学研究所附属病院では、骨再生医療のさらなる発展と普及のために、共同研究先である株式会社 TES ホールディングス（代表取締役 林 明男）の協力を得て、病院内に新たな診療科として日本で初めて「骨再生診療科」を開設することになりました。同科は、医科学研究所附属病院、先端診療部の一診療科として運営されます。

歯を失うと、歯を支える歯槽骨にも萎縮が起こることが少なくありません。通常、義歯（入れ歯）による治療が行われますが、十分な咀嚼力が得られない場合も少なくないため、最近では咀嚼力が高く、使用感に優れたインプラント治療を希望する患者さんが増えています。しかしながら、インプラント治療に必要な骨が不足している場合には、現状では、ご自身の骨を取って移植する外科的ストレスのたいへん高い手術（自家骨移植）が必要です。今回目指している歯槽骨再生医療では、ご自身の骨を取ることなく、患者様の肉体的負担を軽減しながら、インプラントの埋入に必要な歯槽骨を再生し、最終的にはインプラント義歯による治療を可能にします。

医科学研究所附属病院では今後、臨床研究を通して骨再生医療の安全性や治療効果について検証していくとともに、高度医療等の枠組みを通じて、患者様の QOL 向上のために本医療を普及させ、実用化に繋げていく予定です。

7. 問合せ先：

先端医療研究センター 分子療法分野 各務（かがみ）秀明 特任准教授 TEL：03-5449-5120  
問い合わせメールアドレス：[terg2010@ims.u-tokyo.ac.jp](mailto:terg2010@ims.u-tokyo.ac.jp)